

業界Topics

中部地質調査業協会 一般社団法人化決定

中部地質調査業協会(小川博之理事長)は、3月1日からの一般社団法人化が決定し、これまでの任意団体の理事会役員を一般社団法人の理事会役員として引き継ぐこととなりました。
 小川理事長は「一般社団法人の取得によって、これまで以上の社会的信用の確保、認知度の向上を目指す。正会員や賛助会員のメリットも大きい」と話しました。
 (建通新聞 平成29年2月24日参考)

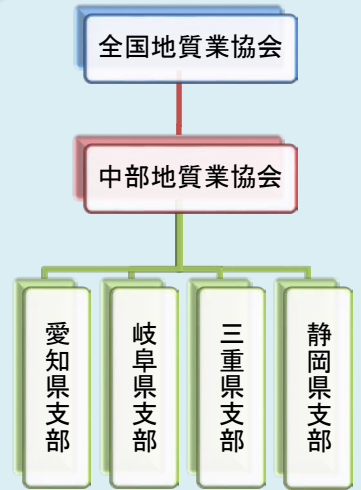
一般社団法人移行のお知らせ

平成29年4月1日

平成29年2月22日の臨時総会にて可決されました、「一般社団法人中部地質調査業協会設立に関する件」に基づき、一般社団法人への移行手続きを進めてまいりましたが、この度、内閣総理大臣の認可を得て、平成29年3月1日をもって一般社団法人に移行し、平成29年度より一般社団法人としての事業活動を開始いたしました。

当協会は昭和36年3月に設立以来、中部地区における地質調査業の健全なる進歩発展を目指して、地質調査技術の改善と研鑽に努め、その経済及び社会資本の整備充実を向上させることにより、公共の福祉に寄与、貢献すると共に、会員の社会的地位の向上を図ることを目的に活動を行って参りましたが、今後も設立の理念を大切に、今まで以上に精励いたしてまいる所存でございますので、引続き、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 中部地質調査業協会



ジオTopics

井戸の定期的なメンテナンスのすすめ



前回紹介したように、まずは井戸内の状態を把握するために**井戸カメラ**を入れて、井戸の健康診断を行います。

井戸の状態を把握したら、次は洗浄です。
 代表的な洗浄方法として、**ブラッシング洗浄**。

ブラッシングは、井戸径よりも一段小さな円筒に、ワイヤーブラシを取り付けたもので、これを上下に摺動させることによって、ケーシングパイプ内面に付着したスケールを掻き落とすものです。



作業状況